

「徳島県公立高等学校の在り方検討会議 1次取りまとめ」について

I 概要

生徒数が減少する中、令和 11 年度入試からの学区撤廃後を見据え、昨年 7 月に「徳島県公立高等学校の在り方検討会議」を設置した。

本検討会議においては、高校生と教育長によるアイデアソンや、中高生、保護者、教職員を対象としたアンケート調査、県内 8 地域でのタウンミーティングなどでの意見も踏まえ、「さらなる特色化・魅力化」「学校規模・配置」「入試制度の見直し」の 3 点について多角的に議論を重ねてきた。

この度、その結果が「1次取りまとめ」として示されたので報告する。

（会議の開催状況）

- ・在り方検討会議 4 回開催（令和 7 年 7 月～令和 8 年 2 月）
- ・入試制度部会 3 回開催（令和 7 年 8 月～令和 8 年 1 月）

II 主な内容

1 本県公立高等学校に求められる役割

- ・生徒一人一人の可能性を最大化する、徳島ならではの多様で質の高い教育環境の実現
- ・地域資源の活用と個性の伸長による、本県産業・社会の持続的発展を支える人材育成

2 公立高等学校の在り方に関する 3 つの視点

（1）さらなる特色化・魅力化の推進

- ①確かな学力の定着と次世代人材の育成
- ②個々の資質を伸ばす教育環境の構築と魅力ある学校の創出
- ③多様な主体との連携・協働
- ④持続可能な推進体制の構築
- ⑤キャリア教育と情報発信の強化

（2）教育の質を維持・向上させる学校規模や配置

- ①将来を見据えた戦略的な再編と持続可能な配置
- ②地域の実情と支援体制に応じたきめ細かな再編等基準の運用
- ③地域における「拠点校」の創出と目的の明確化
- ④拠点校整備の優先と多様な学びの選択肢の確保

（3）入試制度の見直し ※入試制度部会において集中的に議論

- ①志望校を主体的に選択できる制度の導入
- ②生徒・保護者の多様化したニーズを踏まえた制度設計
- ③Web 出願システム導入によるデジタル化の推進

III 今後のスケジュール

- ・在り方検討会議 令和 8 年 1 2 月頃までを目途に 4 回程度開催
- ・入試制度部会 令和 8 年 1 2 月頃までを目途に 3 回程度開催
- ・最終取りまとめ 令和 9 年 2 月頃に県教育委員会へ報告予定